

● ご自宅は大丈夫！！ 住宅の耐震化で、自らの「命」と「生活」を守る防災力アップを！
 ● 甚大の被害が予想される“南海トラフ地震”…大工さん・避難所・仮設住宅は足りない！
 私たちにできること…地震は突然襲ってきます。直ぐにでも「住宅耐震化」の取り組みを！

建築基準法に定めた：住宅の耐震性の目安には、3つの基準！ NHK ゼロから見直す防災
自宅は安全な場所？

・1981年5月以前 ● 旧耐震基準	震度5程度の中規模地震で、倒壊・崩壊しない。震度6強程度の大規模地震の規定はなかった。
・1981年6月～2000年5月まで ● 新耐震基準	震度5程度の中規模地震で、軽微なひび割れ程度にとどまる。震度6～7程度の大規模地震で、倒壊・崩壊しない。
・2000年6月以降 ● 現行の耐震基準	1995年の阪神淡路大震災で倒壊した建物の大半が、旧耐震基準の家屋。新耐震基準から、さらに厳格化した基準が制定。

住宅の「耐震化率（戸建て住宅・共同住宅の戸数ベース）」 国土交通省・枚方市
統計資料より

耐震化率：総務省「住宅・土地統計調査」を国交省で推計	住宅耐震化 合計	戸建て住宅	共同住宅
全 国	約 86.9% (2019年)	約 80.6%	約 94.4%
大阪府	約 88.7% (2020年)	詳細 記載なし	
枚方市	約 88.8% (2021年)	詳細 記載なし	

※ 国の耐震化率…建物の戸数ベースでの把握（マンション急増で、年々耐震化率がアップ!!）。耐震化率85%以上の地域でも、倒壊のリスクの木造住宅が？、実際には **建物の棟数での把握が必要**。
 ▶ **公共施設の耐震化 74.4%** (2020年)… 学校：文科省、官庁：国交省、病院/福祉：厚労省、警察：内閣府 国家公安委員会、消防：総務省など、**所管省庁が縦割り組織で個々に対応!!**

枚方市「木造住宅耐震化補助制度」 枚方市 都市整備部
資料より

▶ 「耐震診断」

最大 **5** 万円
補助します

・1981年 5月31日以前に建てられた木造住宅。

診 断 結 果	総合評価	1.5以上 	1.0以上 1.5未満 	0.7以上 1.0未満 	0.7以上
	判定	倒壊しない	一応 倒壊しない	倒壊する 可能性がある	倒壊する 可能性が高い
	耐震性	あり		なし	
	改修工事	補助金 対象外		補助金 対象	

▶ 「耐震改修工事」

上限 **80** 万円
または **100** 万円
補助

①設計：上限額10万円（費用の70%）
②工事：上限額70万円
（所得により90万円）

▶ 「簡易改修工事」

上限 **50** 万円
または **70** 万円
補助

①設計：上限額10万円（費用の70%）
②工事：上限額40万円
（所得により60万円）

▶ 「屋根軽量化工事」

上限 **20** 万円
補助

・耐久性向上のため、重たい屋根から軽い屋根に（10Kg/m²以下）に。
・屋根面積1m²あたり20,200円上限

問い合わせ先

枚方市 都市整備部 住宅まちづくり課
〒573-8666 枚方市大垣内町2-9-15
(枚方市役所分館2階) 072-841-1478 (直)

・上記条件以外にも制約があります！
・耐震改修工事で、所得税特別控除や固定資産税/特別控除の可能性あり。

— 会員の皆さまへお願い ♡ “最近地震頻発！” 私たちにできること —

- ❖ いつ起こるかわからない災害に備えて、枚方市「木造住宅耐震化補助制度」の活用を!!
- ❖ 枚方市補助金:制約が多い!! 世田谷区:診断/設計費無料、改修工事100万円補助(1981～2000年
新築の2階建て)